

Ⅳ 各教科の学習について

各教科を学習する上でのポイントが示されています。家庭学習の際の参考にして、取り組みましょう。

国語科の学習

国語はすべての学習の基礎となります。しっかり取り組んでいきましょう。

1 なぜ、国語科の学習をするのでしょうか？

教科書などの様々な日本語に触れる活動を通して、多くの「ことば」を覚え理解することで、自分の考えを正確に話したり書いたり伝え合ったりする力や思考力・想像力、また言語能力を高めるためです。これらの力が身に付くことで、国語以外の授業での理解力や、コミュニケーションの向上が期待できます。

2 授業で準備するもの

・教科書 ・ノート(縦書きで使う) ・ファイル ・ワーク ・漢字練習ノート ・筆記用具

※授業によって必要になるもの

・習字道具 ・書写の教科書 ・鉛筆(2B が望ましい) ・百字練習帳



3 授業で大切にしたいポイント

- (1) 先生の話や友達の意見をしっかり聞きましょう。
- (2) 自分の力でじっくりと考え、意見をまとめましょう。
- (3) 自分の考えを積極的に発表して、周りに伝えましょう。

4 ノートの使い方

- (1) たて書きで、大きく丁寧な字で書きましょう。
- (2) 色ペンやラインマーカーなどを使って、わかりやすくまとめましょう。
- (3) 先生が黑板に書かれたことや説明、友達の意見などを書きましょう。

例：ノートの使い方

ノートに線を引き2つに区切って日付やページを書くと、後から見直したときに分かりやすいです。

確認問題	メモ	学習課題
大切なことは メモしましょう。	詩のまとめり…「連」	「朝をリレーする」とはどういうことだろう。
	朝もやの中でバスを待っている	朝のりレー
	メキシコの娘は	谷川俊太郎
	カムチャッカの若者が	
	きりんの夢を見ているとき	
	朝	
	夜	

豊かに想像する

学習課題や教材名を書きましょう。

5 宿題について

- (1) 漢字練習ノート → 教科書に沿って進めます。
- (2) ワーク → 教科書に沿って進めます。意味調べは先に進めておきましょう。
- (3) 漢字練習帳 → 教科の先生の指示に従って書いていきましょう。テスト前の自宅学習で使用してもかまいません。

平仮名が一文字以上の場合は、一マスに収まるように書きましょう。

※読み仮名だけを最初に書いて、テスト形式にすると良いでしょう。

美	うるわ	伊	い
し き		集	じゅう
魂	たましい	院	いん
の		中	ちゅう

例：百字練習帳の使い方

はじめに読み仮名を書きましょう。

6 書写の学習について

- ・ 書写の学習には、硬筆と書道があります。どちらも心を落ち着かせ、集中して一画一画丁寧に書くことが重要になります。
- ・ 正しい筆順で書くことで、より美しい字を書くことができます。
- ・ お手本(教科書など)をよく見て書きましょう。

(1) 硬筆の時間

- ・ 2B 以上の鉛筆と下敷き、書写の教科書を準備しましょう。
- ・ 学習課題に従って、鉛筆で様々な文字を書いたり、様々な形式の手紙やはがきの書き方を学んだりします。
- ・ 中心からはずれないように真っ直ぐ書きましょう。文字の形はもちろん、バランスも意識することでより良い作品になります。



(2) 書道の時間

- ・ 習字道具(筆・墨汁・半紙・下敷き・文鎮・新聞紙・雑巾)を準備しましょう。
- ・ 筆先が割れていたり、斜めになっていたりしないか確認してから書き始めましょう。
- ・ 書いた作品は新聞紙にはさんで保管します。
- ・ 墨汁の扱いには注意しましょう。ふたの閉め忘れがないか、筆先から床に垂れていないか、周りに注意して授業に取り組みます。また、手や机が汚れてしまったときのために、雑巾やティッシュを用意しておくといいでしょう。

7 どうすれば、国語科の力が更に伸びるのでしょうか？

- (1) 日々の授業に集中し、説明をしっかり聞きましょう。また、グループ活動では積極的な発言や取組をしましょう。
- (2) 出された課題に必ず取り組みましょう。
- (3) 図書館を活用し、読書をしたり新聞を読んだりして、様々な文章に触れるようにしましょう。そうすることで言葉を覚え、文章力や表現力が自然と身に付きます。人の気持ちを考え理解しようとする経験が、読解力を高め国語力を伸ばします。また、人としての生き方・あり方・考え方も学ぶことができます。

8 家庭学習はどのようにしたらいいのでしょうか？

(1) 調べる習慣を身に付ける

人にたずねるのも大事ですが、辞書や参考書、インターネット等を使って自分の力で調べましょう。

(2) 予習と復習を充実する

① 予習の仕方

- ・次に学習する部分に目を通し、わからない言葉や漢字があれば、辞書で調べたり線を引いたりしておきましょう。
- ・教科書の文章を音読しましょう。
- ・ワークに掲載されている言葉の意味調べを進めましょう。

② 復習の仕方

- ・ノートやメモなどを、繰り返し目を通して確認しましょう。
- ・新出漢字は何度も書いて練習しましょう。
- ・文章(詩、短歌、俳句、古典なども)を暗唱するまで繰り返し音読しましょう。
- ・熟語を調べたり、類義語(意味の似たことば)や対義語(意味が正反対か、対になることば)を調べたり、短文を作ったりして語彙を増やしましょう。
- ・わからないことがあったら、質問できるように準備しておきましょう。
- ・宿題が出たら、その日のうちに取り組み、提出期限を守りましょう。



9 定期テスト前後の勉強はどのようにすればいいのでしょうか？

- (1) テスト前は、まず教科書を読みます。声に出すことで、内容を振り返り確認することができます。
- (2) 漢字は、漢字練習ノートや漢字練習帳を使用して、書いて覚えます。見るだけでは覚えられません。①テスト範囲の漢字を書く。→②自分で確認テストを行う。→③間違えた漢字を再度練習する。→④もう一度確認テストを行う。このように繰り返し書くことで、覚えることができます。
- (3) ワークや単元プリントを繰り返し解き直しましょう。最低でも3回は解き直しができると良いでしょう。
- (4) ノートや授業中配付されたワークシートを復習しましょう。メモをした大切なところも確認しておきましょう。
- (2) テスト後は必ず訂正をします。なぜ×だったのか、△だったのか、納得いくまで考えましょう。また、分からない問題はそのままにせず、必ず先生や周りの友達に質問し、解決しましょう。